

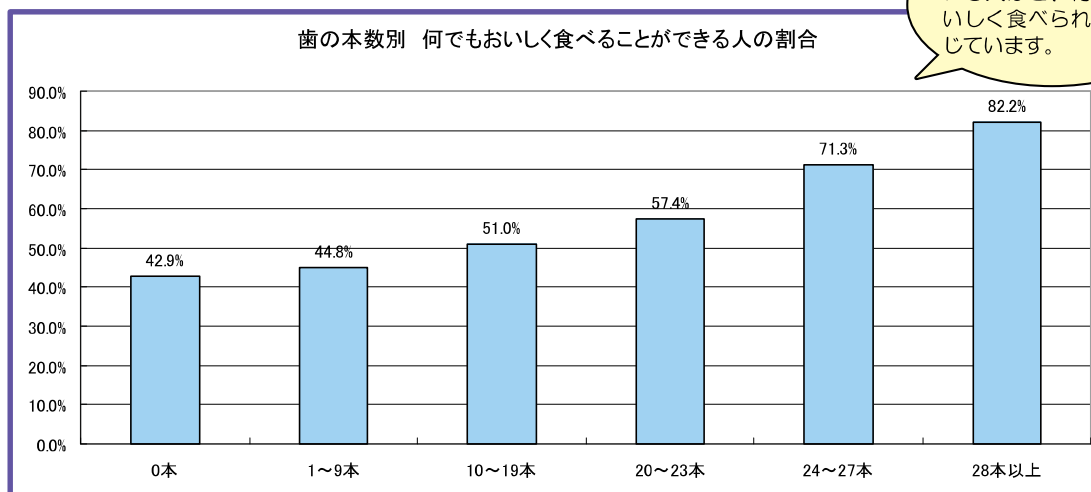
5 全てのライフステージ

目指す姿

市民一人ひとりが生涯を通じて歯や口腔の健康を保つことができる

対策

| | |
|--|---|
| <p>私や家族が 取り組む こと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○食べたら歯をみがく。 ○おやつや甘味飲料を控える。 ○かかりつけ歯科医を持ち、定期的な検診や指導を受ける。 ○よく噛んで食べる。 ○自分や家族の歯や口の健康に興味や関心を持つ。 ○家庭で「健口^{けんこう}デー」を設定し、歯みがきやよく噛むことなどについて家族で取り組む。 |
| <p>地域が取り 組むこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○歯や口の健康に関する取組を広げる。 ○食育とあわせた活動をする。 |
| <p>関係機関が 取り組む こと (園、学校、歯 科医院、職場、 施設など)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○園や学校は歯科健康教育を継続する。 ○歯科医院が定期検診の案内をする。 ○誰もが通いやすい歯科医院づくりにつとめる。 ○歯科医院で歯ブラシや歯間部清掃用具（歯間ブラシやデンタルフロス）の使い方、入れ歯の手入れの方法を指導する。 |
| <p>行政が取り 組むこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○健診等の場での指導を充実させる。 ○歯科医師会及び地域や関係機関の協力を得ながら、歯や口の健康に関する取組を広げる。 ○歯の健康展や健康まつりなどの啓発事業、また広報などで、口腔と全身についての関係など歯や口の健康についての正しい情報を発信する。 ○むし歯予防におけるフッ化物の応用について、情報提供に努める。 ○県の歯科保健推進条例の趣旨を踏まえた取組に努める。 |



歯がたくさん残っている人ほど、何でもおいしく食べられると感じています。

15～84歳アンケート調査より